

大分大学トピックス

理工学部と一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構(J-spacesystems)が連携協定を結びました

理工学部は、平成30年10月17日、一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構(JSS:J-spacesystems)と宇宙開発利用に係る連携協定を結びました。JSSからは、久能木慶治専務理事、高山久信戦略企画室長が出席し、本学からは、北野正剛学長、西園晃理事、劉孝宏理工学部長、衣本太郎理工学部准教授が出席しました。

連携協定の内容は、本学の技術シーズの宇宙への応用展開、宇宙データ等を活用した研究開発の推進および宇宙開発利用の視点を持つ人材の育成で、JSSが国内の大学と包括的な連携協定を結ぶのは初めての事です。

今後は、JSSの協力により、成長産業とされる宇宙産業への技術展開の取り組みや「宇宙開発利用に関する講義」を開講し、総合科学の場である宇宙や科学(サイエンス)に知識と創造性を有する学生の育成といった画期的な取り組みを進めていきます。



本学学生が初の「おおいた共創士」認証書を受賞

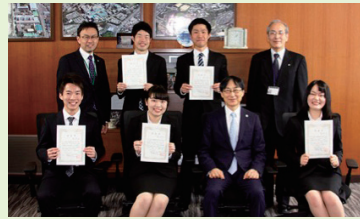
2019年4月22日、「大学等による『おおいた創生』推進協議会」から、2018年度「おおいた共創士」プログラム修了者の本学学生5名に認証書が授与されました。

「おおいた共創士」認証制度とは、地域で活躍できる人材を地域と企業で連携して育成し、その学びを認証するプログラムで、大分大学が推進する地方創生推進事業(COC+)「地域と企業の心に響く若者育成プログラムと大分豊じょう化プラン」の一事業となっています。

地域や企業に参加して、他者と共に地域課題・企業課題や特徴を発見し、適切な解決策を企画・提案できる能力を身に付けた者で、且つ社会人として必要な基礎的な汎用性を備えている人材を「おおいた共創士」として、「大学等による『おおいた創生』推進協議会」が認証します。

「おおいた共創士」に認証されると、大学と連携している大分県内の企業・自治体から、様々な情報の提供や就職活動での優遇を受けることができます。

今回、この「おおいた共創士」認証制度において、本学の学生が初の共創士として認証されました。



大分大学ホームカミングデー2019(速報)

- 1 日時 令和元年11月4日(月・祝) 16:00~19:00
 2 場所 大分大学学生交流会館 B-Forest 内特設会場
 3 次第 **第1部<交流会(A会場)>**
 ・学長挨拶
 ・同窓会連合会会長挨拶
 ・同窓生による講演会
 教育学部同窓会 豊友会会員
 大分大学教育学部教授 大上和敏氏
 演題【日本の温泉、大分の温泉】
 ・各学部・研究科等現状報告
第2部<懇親会(B会場)>
 ・各同窓会・同窓生との相互交流
 ・大学関係者との交流
 ※懇親会は3,000円の会費制

連合会令和元年度事業計画案内

- 6月1日——連合会機関紙発行
 6月1日——卒業生へのアンケート調査協力
 10月5日——同窓生との合同交流会in宮崎
 11月4日——ホームカミングデー2019
 11月4日——同窓生による講演会等

大分大学同窓会連合会役員

役員名	氏名	選出母体等
会長	秦 政博	豊友会会長
副会長	松尾 孝美	翔工会会長
理事	秦 政博	豊友会会長
	石川 公一	四極会会長
	高倉 健	玉樹会会長
	古田 佳代子	桜樹会会長
	松尾 孝美	翔工会会長
	安東 千秋	九峰会会長
	西園 晃	大分大学社会連携担当理事
監事	高井 道晴	四極会副会長
	戸高 孝	翔工会副会長

名誉会長及び顧問

	氏名	選出母体等
名誉会長	園田 和孝	元会長(元豊友会会長)
顧問	北野 正剛	大分大学長

大分大学同窓生との合同交流会 in宮崎(速報)

- 1 日時 令和元年10月5日(土) 13:00~15:30
 2 場所 ホテルメリージュ
 宮崎市橘通東3丁目1-11
 (JR宮崎駅より徒歩で約10分)
 TEL0985-26-6666
 3 次第 **第1部<交流会>**
 ・学長挨拶・同窓会連合会会長挨拶
 ・学部・研究科等現状報告
第2部<懇親会>
 同窓生・同窓会との相互交流
 ※懇親会は3,000円の会費制

大分大学創立70周年記念事業(速報)

1. 日時: 令和元年(2019年)9月20日(金) 9:30~12:40
 2. 場所: レンブラントホテル大分 二豊の間
 3. 次第: ①記念式典・記念講演会
 【講演者 大分県知事 広瀬勝貞氏】
 ②祝賀会

大分大学同窓会連合会 機関紙 No.5

令和元年6月1日発行

【事務局】
 大分大学産学官連携推進機構 研究・社会連携部研究・社会連携課内
 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL:097-554-7513/FAX:097-554-7740
 E-mail:dosoren@oita-u.ac.jp HP:http://www.alumni.oita-u.ac.jp/



【巻頭言】 「平成」から「令和」へ

31年4か月の平成の時代が終わりました。端的にいうと平成は、「改革」という文字に明け暮れた時代。母校も平成16年国立大学法人となり、装い新たに「知の拠点」として多くの成果を生み、各方面に貢献してきました。

約4万の卒業生が、学部の垣根を越えて横断的に結び合う連合組織の本会も、平成生まれの新組織。各同窓会が互いの交流と親睦を深め、母校の発展にこぞって寄与することを使命としています。

平成に代わる新元号「令和」の時代が始まりました。どのような時代が待ち受けているのか、大いなる希望と少しばかりの不安とがないまぜになったような思いが交錯しますが、この「令和」時代の新風のもと、母校の伸びやかな進展を「連」や「絆」の言葉のように、スクラムを組んで支えて参りましょう。会員諸氏のご支援ご協力をお願いいたします。

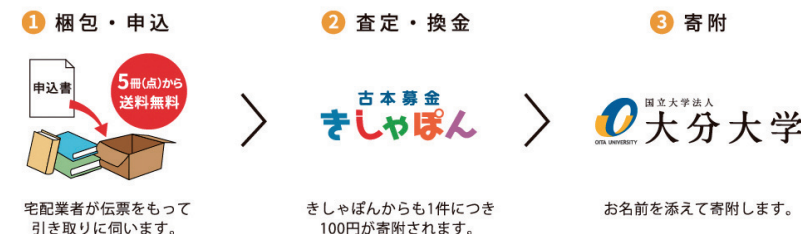
同窓会連合会会長 秦 政博

「大分大学古本募金」開始のご案内

大分大学では、平成30年10月1日から、「大分大学古本募金」を開始しました。古本募金とは、皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が大分大学に寄附される取り組みです。寄附金は、大分大学学術情報拠点(図書館/医学図書館)において学生用の図書購入費や学習支援の活動費として活用されます。

申込受付から査定・報告、および送金は「古本募金きしゃぼん」(運営:嵯峨野株式会社)が担当します。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

古本募金の流れ



集荷のお申し込み・変更、取扱い品についてのお問い合わせ先

古本募金きしゃぼん(運営:嵯峨野株式会社)
 TEL:0120-29-7000(受付:9:00~18:00)
 フリーダイヤル

※古本募金の方法や税法上の優遇措置等の詳細につきましては、大分大学HP【http://www.oita-u.ac.jp】のトップ画面にあります「大分大学古本募金」コーナーをご覧ください。

◆「久々の母校にて」

この度は、「OB-OG交流会」に参加させて頂き誠にありがとうございました。久々に母校へ赴き、後輩の皆様と交流できましたこと大変楽しかったです。

さて、教育福祉学部出身の私が、「営業職」の話をして興味を持っていただけたら心配でしたが、休日やノルマの件など様々なご質問も頂き、「営業職」についてお伝えすることが出来たのではないかと思います。

私は現在、大分トヨタ自動車株式会社レクサス大分にて勤務しております。教育関係とは無関係ですが、多種多様な職種の方がお客様でもあり、日々、勉強させて頂いております。また頼って頂き、車の営業と言うよりは、人と人をつなぐ架け橋みたいな仕事をしている気がします。営業職はモノを売るというよりは、自分を売るとよく言われますが本当にその通りの仕事です。もちろん、ノルマもありますが、毎月思うように行くはずありません。オーナー様との約束を必ず守る、嘘をつかない、真摯に対応することが大切です。

昨今、SNSなどが普及し、様々な問題があります。便利さもありますが、人と人のコミュニケーションが薄れている時代になっております。面と向かっては話せないけど、ネット上ではあることないこと言いたい放題、大切なことをメールで済ませてしまうなど、うんざりすることも多い世の中になってしまっております。

こんな時代だからこそ、原点回帰で人に会って、相手の目を見て話すことの重要性が大切ではないかと思います。相手の喜怒哀楽を面と向かって肌で感じる事が人間力を鍛えてくれます。自ずと口コミで周りの人も変化させることが出来るし、実績もついて来ます。

よく、家庭では野球少年の2人の息子に「お父さんは、プロ野球選手の年俵ぐらい年間で売り上げるのだけだ、お父さんの稼ぎは・・・。」など笑い話をしますが、本音のところは、お金以上に、様々な人との交流で交渉能力や人生に必要なスキルが身につく子供たちにも伝えて行ける気がします。

最後になりますが、大分大学に関係されている全ての皆様へ、レクサスに関しては、ぜひOBの「佐藤洋治郎」にお問い合わせください。精一杯、お手伝いさせていただきます。また、大分大学の発展と後輩の就職にご協力できるように努力してまいります。佐藤 洋治郎(平成16年卒)

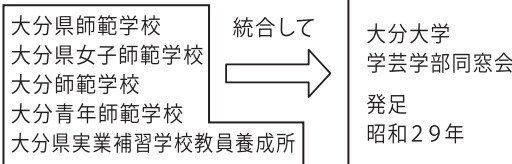
豊友会

〈同窓会名称変更のお知らせ〉

平成28年4月の大分大学教育福祉学部から大分大学教育学部への改組に伴い、令和元年5月11日付で、「大分大学教育福祉学部同窓会豊友会」を「大分大学教育学部同窓会豊友会」とします。

沿革史

明治28年 大分県師範学校同窓会発足
昭和28年 大分大学芸学部同窓会



昭和41年 大分大学教育学部同窓会
平成15年 大分大学教育福祉学部同窓会
平成17年 大分大学教育福祉学部同窓会(豊友会)
令和元年 大分大学教育学部同窓会(豊友会)

桜樹会

◆ 国境なき医師団における同窓生の活躍

桜樹会では例年、10月に挟間キャンパスにて行われる医学部祭に合わせ、桜樹会定例総会を開催しています。昨年は特別講演会として、2006年に看護学科を卒業した後、大分大学医学部附属病院や大分中村病院で手術室看護師としての勤務を経て海外に1年間語学留学。2017年から国境なき医師団の医療活動に参加、イエメンにて6か月間活動をした上村三徳さんにシンポジストをしていただきました。



参加者の中には、退官され現在は平松学園大分医学技術専門学校校長の島田達夫先生や、カナダから来日された当会名誉顧問のマーナ・豊澤英子先生、シンポジストの前職場の関係者、在学中の先輩や後輩など多くの方が来てくださり、参加人数は過去最大の大盛況で、借りていた会場に入りきらないほどでした。同窓生が苦難を乗り越えながらも国外で活躍していることを、体験者本人から聞くという貴重な体験ができ嬉しく感じました。

まだまだ歴史の浅い同窓会ではありますが、同窓生の活躍の場は着実に世界へと広がっています。今後も母校の発展とともに、日本国内外に広がった同窓生の交流を図っていきたくと考えています。

桜樹会副会長 廣田 美咲

翔工会

◆ あたりまえからの脱却のために他分野から学ぶ

私は大分大学を卒業後すぐに熊本県の教員となり3校の工業高校に勤務後、県教育委員会を経て現在、校長として熊本西高校に勤務しています。これまでに校長として、鹿本商工高校、翔陽高校にも勤務しましたが、この2校は工業系の学科がありました。現在、勤務している熊本西高校は、普通科、理数科を持つ普通高校です。工業の教員が普通高校に配置されるというのは、珍しく、これまでの知識や経験が活かしていく点もありますが、普通科のあたりまえを知らないから大胆な取り組み(学校改革)ができる強みもあると感じています。大学入試改革、新学習指導要領、働き方改革など、今、学校には、矢継ぎ早に多くの改革が求められています。これらの対応や生徒指導の充実により学校の魅力を高めるため、多くの改革に取り組み、その改革の内容は、熊本県での先進事例として取り上げられるまでになりました。今回、熊本西高校は、春のセンバツ野球大会に出場しました。これも改革の大きな成果の1つと感じています。



昨年、熊本で同窓生との合同交流会が開催されました。ここでの他分野の同窓生との交流は、大変刺激になり、考えを深めることができました。これからも積極的に同窓生と交流し、そこから得た学びを学校経営に活かしたいと思います。同窓生の全国での活躍を期待しています。

翔工会熊本支部長 柿下 耕一

九峰会

◆ 研究科で学んだ内容はさまざま

福祉社会科学研究科が出来て16年が経過しました。その間に約160名が研究科の門をくぐり、そしてその多くが修士論文を書き上げて修了しています。福祉社会科学研究科は学部横断的に創設されていますから、そこで院生が研究していることも学際的で多彩な研究テーマが揃っています。社会福祉や医療の実践現場に就職して一定の実務を積んだ後に研究科で理論と実践の融合を図って研究をしたり、自らの専門職としての方向性を確認するために研究したりと、研究科で学んだ内容はさまざまです。この研究科でそれぞれが学んだ内容を生かして今では中国や台湾そして韓国などでもさまざまな分野で活躍しています。研究科が立ち上がった時期は社会福祉の制度転換期に当たっており、新しい制度の中でのシステム設計を研究対象とする院生も多くいて、今では現場で新たな職場を開拓している修了生も多くいます。21世紀もあつという間に20年近くが過ぎてしまいましたが、先の見えない社会の混沌はより深くなっているように見えます。昨年11月に学園祭行事の一貫でもあるホームカミングデー行事の中で本会会員の田中一旭さんが博士論文に関する研究成果として発表していますが、現場だけでなくさらに深く研究を進めている会員もいることは将来に期待が持てると感じています。今年は大分大学において日本社会福祉学会の研究大会が開催されるということで本会としてもできる限りの協力をしていきたいと考えています。



九峰会会長 安東 千秋

◆ 多額の寄附に感謝



大分大学経済学部が2022年に100周年を迎える。四極会では一昨年、大学側と共同で立ち上げた実行委員会(野々下俊昭委員長=大学12回)を中心に準備を進めています。記念式典は2022年6月25日です。現在、募金活動に力を注いでいます。世の中が大変厳しい時の募金のお願いですから、集めるのに大変苦労しています。しかし、同窓生ひとり人の協力で目標の金額に向かって前進しています。そういう中で、注目されるのが北九州在住の黒土始さんという97歳の大分高商18回生の大先輩です。小倉に本社がある第一交通産業グループの代表取締役創業者会長をしています。その黒土さんが、100周年記念募金として、四極会と経済学部にあわせてなんと1000万近い寄附をしています。四極会では黒土さんに感謝状を贈呈しました。

四極会理事 帆足 三郎(大学13回生)

四極会

◆「大分大学医学部 女性医療人支援の今」



平成30年度、全国的に医学部入試の女子学生への差別問題が表面化し女性医師問題に発展しました。しかし大分大学では平成22年度男女共同参画推進室が設立されてから4年後の平成26年度、医学部附属病院に女性医療人キャリア支援センターが設置され、女性医師支援の体制は少しずつ整えてきておりました。そして厚労省の平成30年度「女性医師等キャリア支援モデル構築事業」に全国2機関のうちの一つとして採択されました。本事業は厚生労働省が普及推進可能な効果的支援策モデルを構築する機関を選定し、女性医師等のキャリアの充実を図ることを目的としたものです。

女性医療人キャリア支援センターとして継続して行っている医学科5年生女子と女性医師、女性医師同士の交流会、「パパの会」の開催に加えて、新たに、女性医師の非常勤勤務支援によるキャリアサポート、医局ごとの復職支援プログラムの作成、医学部教授会でのダイバーシティ研修セミナーの開催、大分県女性医師等キャリア支援連絡協議会の開催、マタニティ白衣・スクラブの貸し出しなどを行いました。ご理解とご協力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

これからも女性だけでなく男性医療人の働き続けやすい職場環境整備やキャリア形成に少しでも役立つことを目指してまいります。

大分大学医学部 医学生物学教授 副学長(ダイバーシティ担当)
附属病院 女性医療人キャリア支援センター 副センター長
松浦 恵子



卒業生(学部卒業生)調査へのご協力のお願い

この度、平成16年・21年・26年の3月に大分大学の各学部を卒業された皆様について、大学入学時、在学時及び学部卒業後の状況をお伺いし、本学における教育の成果を測定するアンケート調査を実施することになりました。この調査は、調査結果から得られた卒業生の皆様のご意見を、教育の改善や発展に役立てることを目的としております。

つきましては、趣旨をご理解いただき、調査へのご協力を宜しくお願い申し上げます。なお、詳細につきましては、本紙に添付しております「卒業生(学部卒業生)調査へのご協力のお願い」をご一読くださいますようお願いいたします。

お問合せ窓口 大分大学高等教育開発センター教学IR (kyogaku-ir@oita-u.ac.jp)

大分大学修学支援事業基金のご案内

大分大学は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して支援を行うことを目的として「大分大学修学支援事業基金」を設立しています。同基金は、下記に掲げる事業を通して学生を支援しています。皆様からの寄附金は、次の事業に活用されますので経済的に困難な後輩のご支援をお願い申し上げます。

- ・学生に対する奨学金の給付
- ・学生に対する授業料等の減免
- ・学生に対する海外留学等の支援
- ・学生が本学の補助的業務に従事する活動等に採用される機会の促進

ホームページURL
【<http://www.oita-u.ac.jp/08campus/syugakushienjigyokikin.html>】

問合せ窓口
大分大学学生支援部学生支援課奨学支援グループ
〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
TEL:097-554-6123 E-mail:seisiesi@oita-u.ac.jp

大分大学の寄附金制度のご案内

この寄附金制度は、企業や個人等の方から、教育研究の奨励を目的として寄附金を受入れ、大分大学の学術研究や教育の充実・発展に活用する制度です。寄附金は、大分大学の学術研究に要する経費、教育研究の奨励に供する経費及びその他大分大学の業務遂行に要する経費に充てられます。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ホームページURL
【<http://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/kifukinseido.html>】

問合せ窓口
旦野原キャンパス
(教育学部、経済学部、理工学部、福祉健康学部、福祉社会科学研究科、各機構、センター等)
研究・社会連携部 研究・社会連携課
〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700
TEL:097-554-7377 E-mail:kenkyou@oita-u.ac.jp

挟間キャンパス
(医学部、附属病院)
医学・病院事務部 経営管理課総務係
〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1
TEL:097-586-5230 E-mail:kkansomu@oita-u.ac.jp